

北アルプス日本海広域観光連携会議 第3回広域観光連携専門委員会

平成 25 年 12 月 20 日
糸魚川市役所 2 階会議室

1 開会

2 審議事項

(1) ロゴマーク、キャッチフレーズの募集結果及び選定について

(2) 平成 26 年度事業計画、予算案について

(3) 今後のスケジュールについて

ロゴマーク、キャッチフレーズの決定	～平成 26 年 1 月中旬
平成 25 年度第 1 回幹事会の開催	～平成 26 年 2 月上旬
ポスターの発表	～1 年前 C D イベント (平成 26 年 3 月)

(4) その他

3 その他

ロゴマーク・キャッチフレーズの募集結果について

12月8日(日)の消印をもって募集は終了しましたが、次のような応募数となり、反響の多さに驚いています。

ロゴマーク 応募者数 106 点

応募者の住所地 東京 18 愛知 8 大阪 7 神奈川 6 京都 4
山口 3 兵庫 3 広島 2 福岡 2 宮城 2 山形 3
和歌山 2 群馬 2 奈良 1 岩手 1 山梨 1 秋田 1
千葉 1 香川 1 青森 1 熊本 1 高知 1 三重 1
宮崎 2 埼玉 1 青森 1 大分 1
長野 3 新潟 4
上越 3 糸魚川 10 大町 4 ほか

キャッチフレーズ応募者数 670 点

応募者の住所地 愛知 77 埼玉 65 大阪 58 東京 58 神奈川 53
兵庫 39 茨城 27 千葉 18 福岡 18 京都 15
奈良 13 岩手 12 宮城 12 山口 10 静岡 10
岡山 9 北海道 9 山梨 8 広島 7 栃木 6
福島 6 滋賀 5 宮崎 5 石川 5 秋田 4 群馬 4
岐阜 4 香川 4 島根 4 三重 4 愛媛 4 徳島 4
和歌山 3 青森 3 山形 3 大分 2 熊本 2 長崎 2
高知 2 佐賀 1 長野 10 富山 4 新潟 23
上越 1 糸魚川 25 大町 7 白馬 1 ほか

各最優秀賞1点、優秀賞1点の決定方法

今会議で上位各3点ほどを選択し、最終決定をしたい。
1月下旬に、記者リリースの予定。

 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上方に透き通るような青い空の元、雪に抱かれた日本の屋根、北アルプス連峰(白馬三山)を流れるような躍動感を持たせ表現。 ・下方には壮大な日本海をデホルメし、その色の変化により神秘的な海の深さを表現。 ・最下部に姫川をデホルメ、穏やかで力強い流れの中に姫川の輝ける宝であるヒスイをイメージし北アルプス日本海広域6市町村を6色6個で連携と発展を表現。 <p>注)文字列は任意配置可能です。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>32</p> <p>六角の形状は6つの地域による協同事業を表し、上部の山型直線は北アルプス、下部の波線は日本海をシンボルライズしています。それぞれの事業・団体により構成されているため、特定の特産品等の表現は避け、シンプルの中に雄大な自然とそれを取り囲む地域の人々の「和」を表しています。</p> <p>他イメージ:   北アルプス日本海広域観光連携会議</p>
 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>11</p> <p>ロゴ左側に今や有名な日本海の夕日「太陽と海」を表現し、その葉脈を6色6市町村としてイメージ、連携、絆、発展を表現。</p> <p>注)文字列ロゴマークの下部、上部、右流れ等任意配置です。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>33</p> <p>北アルプス・日本海・糸魚川駅を描き、北陸新幹線『糸魚川駅』開業によりアクセスの高速化によつての集客力のアップをイメージし、デザインしました。</p>
	<p>17</p> <p>北アルプスと日本海を背景に、6市町村が連携する様子をイメージしました。未来への希望を右上がりの輪で表現したつもりです。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>34</p> <p>北アルプス・日本海・糸魚川駅を描き、北陸新幹線『糸魚川駅』開業によりアクセスの高速化によつての集客力アップをイメージしデザインしました。</p>
	<p>19</p> <p>北アルプスと日本海(力強い波と夕日)のデザイン中央に躍動感のある北陸新幹線をデザインし、糸魚川駅開業で活性化する広域6市町村エリアを表現したロゴマーク。</p> <p>北アルプスと日本海、新幹線の躍動感溢れるデザインが一目見て、北陸新幹線開業により、糸魚川駅周辺エリアが活性化し、夢のある未来を思い描けるデザインです。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>36</p> <p>北アルプスの「北」をモチーフに、地域連携で観光PR活動をする6市町村の取り組みを、手を広げ躍動する姿で表現しました。また、雄大な北アルプスの山々や日本海の美しい夕日に人々の笑顔を配置し、親しみやすくデザインしました。</p> <p>ロゴなし: </p>
 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>24</p> <p>円の中に「北アルプス」に模した山並み、「新幹線車両」、「日本海と海鳥」、「さくら」と「北アルプス日本海広域観光連携会議」のロゴマークを組み合わせました。</p> <p>「さくら」は6市町村に。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光</p>	<p>37</p> <p>グリーン(上)と北アルプス(下)は広域6市町村のエリアを。ブルーの円は日本海の波と沿線市町村と交通業者合わせて27団体の連携を表し、新しい時代の地域連携や創造的なまちづくり。「糸魚川駅」の開業がもたらす様々な効果を活用し、周辺地域の活性化や内外からの多くの集客化を目指し、希望を活力に満ちた夢のある未来へ大きく前進・飛躍する周辺地域をイメージに全体を表現しました。</p>
 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>25</p> <p>東洋の秘宝ヒスイ・日本初の糸魚川ジオパーク・日本海の豊富な海産物等全ては北アルプスの恵みを意味し、北アルプスから日本海への魅力を表現しました。</p> <p>モノクロバージョン  </p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>38</p> <p>北アルプス連峰をメインモチーフとしてアーバンなイラストとし、日本海と広域6市町村エリアとの躍動感をイメージづけるため、内陸と日本海をカラーリングで表したラインを配している。さりげなく笑顔にも見えるように工夫を施し、夢のある未来を思い描けるロゴマークのデザインにした。</p>
 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>27</p> <p>まず配色は躍動感や元気をイメージするオレンジとそれに近い青色を用いて明るく楽しい印象にしました。デザインは北アルプスの御来光をイメージして6つの射光は6市町村の連携を意味し、新しい日が輝き始めようとしている様子を思い描きました。</p> <p>それと下の青い部分は誠実さと日本海をイメージしました。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>50</p> <p>日本海エリア(上越市・糸魚川市・朝日町)と横矢に、北アルプスエリア(小谷村・白馬村・大町市)を縦矢に表し、新幹線の進行方向に合わせて広域連携会議の伸びやかな発展を表現しています。</p>

 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>64 「北アルプス日本海広域観光連携会議」のシンボルマークで北アルプスと日本海から昇る朝日で地域の観光の情報発信。地域の認知度向上を新幹線開業と共に全国にアピールしたいものです。</p>	 <p>NORTH ALPS</p>	<p>93 山(北アルプス)と海(日本海)ブルー 糸魚川沿線の豊かな自然・多彩な文化と共に活力ある広域社会と観光産業の発展を目指すイメージを象徴。</p>
	<p>66 北アルプスをイメージするシルエットを中央に配置し、その上下の楕円形の形状は日本海および広域市町村を表現した。</p>		<p>100 北アルプスと日本海の間、北陸新幹線のカラーをイメージしたラインを描き、身近で便利な交通手段があることを表現しています。</p> <p>ロゴ入り:</p>  <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>
 <p>北アルプス日本海 広域観光</p>	<p>70 北アルプスの山並み 日本海の波濤をモチーフにしています。沿線市町村のラインがぐるっと未来へのびて周辺地域の団結と飛翔をバネに活力・交流あふれるパワーとなって北陸新幹線と共に花開くイメージです。</p>	 <p>北アルプス日本海広域観光連携会議</p>	<p>102 北アルプスの代表的な山「槍・穂高・立山・白馬」を望む、自然溢れる上越の地。そして有機的に結びつく6都市の繋がりを表現。新緑を感じさせるグリーンは未来に続く躍動感を演出。</p>
 <p>ITOIGAWA</p>	<p>72 糸魚川の「い」をヒスイで、北アルプス・日本海の海をモチーフに広域の豊かな自然と共生 連携し活力ある未来の観光・商工都市づくりへ躍動するイメージを表現したロゴマーク。</p>		
 <p>北アルプス日本海広域観光連携</p>	<p>82 北アルプスの山々と「北」の字を 自然豊かな地・日本海の波の流れなどをイメージしてデザインしました。</p>		
 <p>北アルプス日本海広域観光連携</p>	<p>84 北アルプスの山々と「北」の字を 大自然の風景と美しい緑の地・清き風の流れをイメージしたデザインです。</p>		
 <p>北アルプス日本海広域観光連携</p>	<p>92 頭文字＝「北」をモチーフとして、北アルプスの有る大自然の緑の地で人々が清き豊かな笑顔で楽しく生きるイメージのデザインです。</p>		

キャッチフレーズ結果

		票数	選定
2	トンネル抜けると そびえ立つ北アルプス 日本海の幸が待っている		
10	海、山、空、四季が彩る ハーモニー		
21	君を待ってる！日本海！アルプスの山！	2	
39	癒されます。日本海に、北アルプスの空に。		
65	よくばってふれあい出会う 北アルプスと日本海		
100	北アルプス日本海 山と海とが 響き合う	3	
104	躍動と夢がある 北アルプス日本海		
129	日本アルプス日本海 全部あるから あがらない！		
133	北アルプスからの贈りもの		
140	糸魚川 つなぐアルプス 日本海		
146	素通りできない、絶景がある。	2	
147	海と山 つながれひろがれ 夢・未来		
150	新感鮮		
156	高低差3180mの山海が魅せる美しき競演		
162	北アルプスと日本海のサンドイッチエリア		
165	北アルプス 日本海 夢をつないで 花咲く未来		
177	連なる 繋がる 北アルプス～日本海	2	
213	びびゅん！と北陸日本海		
215	この景色を見れるのは、あなただけ。		
218	北アルプス ひとつに結ぶ 夢みらい	2	
236	北アルプス日本海 未来へつながる おもてなし	4	
237	標高差3000mのおもてなし	2	
239	海あり山あり心あり		
264	山と海 つないでいい四季 いい自然		
265	夢キャッチ あざやか四季彩 山と海		

267	山よし 海よし 笑顔よーし！		
295	北アルプスへ 日本海へ 新幹線に乗ってゴー！		
310	感動と 夢呼ぶ アルプス・日本海		
324	勝手に絶景特区。		
329	北アルプス日本海、おもてなしエリア。		
351	そこは、北アルプスの改札口だった。		
364	北アルプス・日本海広域に、北陸新幹線が運ぶ“夢未来”		
379	海だけじゃない。山だけじゃない。		
411	つながる、輝く、おもてなしエリア		
425	海と山と人が魅力、おもてなしエリア		
432	海と山に逢える、北アルプス日本海。		
453	海と山に恋するまち 北アルプス日本海		
463	北アルプスと日本海、ここだけの贅沢。		
464	山海の 自然あふれる 美しきふるさと		
470	海へ！山へ！心広がる大パノラマ	2	
478	海ある 山ある 北アルプス日本海		
485	海もある 山もある 北アルプス日本海		
546	海、山に きらめき広がる 夢、未来		
586	新しい夢 新しい感動 北アルプス日本海		
610	北アルプス、六つの笑顔に会いに行こう		
632	つながる ひろがる 北アルプス日本海		
670	北アルプス つないでいい四季 日本海		

平成26年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	説 明
1. 負担金	13,450,000	
	6,892,000	糸魚川市
	859,000	上越市
	1,073,000	大町市
	327,000	白馬村
	113,000	小谷村
	486,000	朝日町
	3,700,000	パンフレット買い取り分
2. 補助金	0	
3. 雑収入	250,000	総会交流会費
計	13,700,000	

【支出の部】

科 目	予算額	説 明
1. 事業費	12,700,000	
広告宣伝費	4,500,000	パンフレット、ポスターの作成
誘客宣伝費	7,360,000	誘客宣伝活動等
イベント関連費	540,000	新幹線開業イベント関連
ホームページ運営費	300,000	ホームページ管理費
2. 連携会議運営費	1,000,000	
会議費	250,000	総会、交流会
事務委託費	700,000	糸魚川市観光協会
事務通信費	50,000	消耗品、事務通信費等
計	13,700,000	

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成26年度事業企画書（案）

(単位：千円)

区分	実施時期		事業名	参照頁	事業費	H26予算額	
広域観光PR	開業準備期	4月	広告宣伝	広域観光ポスターの作成	1P	800	4,500
		4月		広域観光パンフレットの作成	2P	3,700	
		4月	誘客宣伝	DCへの参加	3P	0	7,360
		5月		TV番組の制作業務委託	4P	2,000	
		6月		カウントダウンカレンダー	5P	700	
		6月		バス広告の実施	6P	1,000	
		6月		認知度調査および開業効果測定事業	7P	300	
		6月		首都圏での観光プロモーションの実施	8P	3,200	
		7月		広域周遊型旅行商品の展開	9P	160	
		10月	イベント	市民見学会の開催	10P	540	540
	通年	広域観光PRの実施		11P	0		
	通年	HP運営	ホームページ運営管理	12P	300	300	
						12,700	12,700
地域内PR	カウントダウン	9月	イベント	6か月前カウントダウンイベント	13P	0	
		12月		3か月前カウントダウンイベント	14P	0	
		2月		1か月前カウントダウンイベント		0	
		通年		地域内イベントPR事業	15P	0	
					0		
開業	開業時	当日	イベント	開業時イベント		0	
		当日		開業時イベント		0	
		当日		開業時イベント		0	
		当日		開業時イベント		0	
					0		
その他	開業準備期	通年	交通政策	交通アクセス検討事業	16P	0	
						0	
					0		

広告宣伝

広域観光ポスターの作成

1 趣旨

季節に応じたポスターを作成し、当地域の魅力を訴えることで来訪意欲の創出と誘客促進を図る。

2 事業計画（案）

連携会議の魅力は海と山である。風景を活かしたインパクトのあるポスターを作成し、興味の喚起と来訪意欲を促す。

- (1) 掲出エリアの選定
- (2) デザインの決定

【参考】
 JRの駅貼りの要件として、「タイアップポスター」と「観光誘致ポスター」の2種類があり、いずれも掲出には内容の承認が必要。自由なデザインでの作成を希望する場合、掲出には制約は設けませんが掲出料が高額になる。（首都圏駅掲出例：200枚で約250万円）

3 目標

露出を増やすことで認知度向上と来訪意欲の創出を図る

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	デザイン決定、発注											
	作成											
			掲出									

5 事業費（概算）

800,000 円

<内訳>

- ・作成費 250,000円（200枚）×3種＝750,000円
- ・掲出料 100枚×500円（発送手数料）＝50,000円

広告宣伝

広域観光パンフレットの作成

1 趣旨

当地域及び当会議の認知度向上及び誘客促進を図るため、エリアを網羅した広域観光パンフ（マップ）を作成する。

2 事業計画（案）

名のある旅行ガイド出版社と組むことで、ピックアップ率、保存率を高め、客からの高いレスポンスを狙う。

【例1】 マップル特別編集版(昭文社発行)
▼オリジナル観光ガイドブック(無料配布版) 10,000部 × 単価650円 = 6,500,000円(税抜)
 AB版(H257mm × W210mm) 32頁 中綴じ
 表紙コート135kg(PP加工) 本文コート90kg
 取材(6市町村分)、企画編集、デザイン、印刷製本

【例2】 マップル特別編集版(昭文社発行)
▼オリジナル広域観光マップ(無料配布版) 50,000部 × 単価55円 = 2,750,000円(税抜)
 A1判 コート73kg
 表面: 広域地図
 裏面: 観光情報(写真、記事支給)

3 目標

不特定多数への情報発信
 認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画調整											
			デザイン、編集、印刷									
							配布（随時）					

5 事業費（概算）

3,700,000 円（作成するタイプにより変動）

誘客宣伝

デスティネーションキャンペーンへの参加

1 趣旨

J Rグループの大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン（DC）」に参加し、糸魚川駅開業と「北アルプス日本海広域観光連携会議」の認知度向上と来訪意欲の創出を図るとともに、広域観光旅行商品の売り込みを図る。

2 事業計画（案）

全国的に注目が集まるDC企画に参加し、連携会議の魅力を伝える。

- (1) テーマは「食」に加え、「花」「雪」「酒」「匠（たくみ）」であることから、魅力十分な当地域の強みを訴える。
- (2) 新潟うまさぎっしり博に出展し「食」によるPRを行う。
- (3) 平成26年7月半ばには新潟市内で全国の旅行会社の担当者らを対象に、宣伝販売促進会議が開催される予定であり、広域旅行商品を造成し紹介する。
- (4) 北陸三県（富山・石川・福井）DCへの参加を要請する。（H27.10.1～12.31開催）

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

J Rびゅう商品へのステップアップ

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内容決定											
		DCイベント実施										
				宣伝販売促進会議での商品の売込み								

5 事業費（概算）

0 円

誘客宣伝

TV番組の制作委託業務

1 趣旨

TV番組を通じ、当地域の魅力を広く紹介することで来訪意欲の創出と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

主にアクティブシニアをターゲットに、当地域を周遊する旅紀行番組を制作。
地元ローカル局へ取材と制作を依頼し、在京キー局（もしくは首都圏地方局）での放映につなげる。

- (1) 「食」「景色」「温泉」「人」を素材に当地域の魅力と強みをPR
- (2) 北陸新幹線糸魚川駅を拠点に各地域と近距離で楽しめることを強調
- (3) プレゼントパブを用意し反響の調査を行う
- (4) 放映後、映像素材は各地域でのイベントやキャンペーン等でも使用する

3 目標

首都圏在住のアクティブシニアに対する来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		打合せ										
		→	制作									
			→			放映						
						→						

5 事業費（概算）

2,000,000 円

誘客宣伝

カウントダウンカレンダー

1 趣旨

新幹線開業に向けたカウントダウンカレンダーをWeb上に掲載。市民が参加できる仕組みを作り、新幹線開業までの機運を醸成する。

2 事業計画（案）

全体の仕組み

- (1) HP上に新幹線開業までのカウントダウンカレンダーを掲示
⇒100日前からを想定すると、H26年11月からスタート
- (2) 連携会議在住の市民、観光客から参加していただく（HPや広報などで周知）
- (3) カウントダウンの数字を入れたホワイトボードも持って撮影
- (4) 写真はランダム掲載とし、ホームページの閲覧数を増やす
- (5) 掲載済みの写真は、過去にさかのぼり閲覧できるようにしておく

撮影

- (1) 撮影場所は、連携会議各市町村の代表的観光地とし、季節感を出すため時期を変え各市町村を移動し撮影会を行う。（夏→糸魚川、冬→白馬など）
- (2) 学校、保育園などの希望にも対応するほか、市外でのPRイベント時などでも撮影し素材を集める。
- (3) 撮影場所までの移動は自費とする。

3 目標

市民意識の高揚や期待感の創出による機運の醸成
認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			周知、制作準備										
			→			撮影			→				
								HPアップ					→

5 事業費（概算）

700,000 円

誘客宣伝

バス広告の実施

1 趣旨

北陸新幹線の開業と当地域の魅力を関西圏において紹介し、来訪意欲の創出と誘客促進を図る。

2 事業計画（案）

大阪府交通局の府営バスの車体側面に連携会議の広告を掲載し、府民や観光客へPRすることで、認知度向上と関西圏からの誘客を促進する。なお、広告には糸魚川市出身のお笑い芸人（吉本興業所属）とタイアップした内容とすることで注目度を上げる。

- (1) 大阪府交通局、吉本興業と企画協議
- (2) 掲載期間、掲載エリアの決定

3 目標

不特定多数への情報発信
認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			企画調整	→								
					デザイン、施工	→						
								運行（PR）	→			

5 事業費（概算）

1,000,000 円

誘客宣伝

首都圏での観光プロモーションの実施

1 趣旨

開業を控えた北陸新幹線のPRと「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力について首都圏での認知度向上を高めるためのPRイベントを開催する。

2 事業計画（案）

北陸新幹線開業と連携会議の紹介のほか、各地域の物産の販売を通じ、当地域の認知度向上と来訪意欲の創出を図る。実施にはJR関連企画会社への協力依頼が必要。

各県東京事務所との連携により発信力の強化を図り、パブリシティでの情報発信により露出を上げる。

【実施例】

開催日	平成26年6～7月、10～11月の間の週末2日間
会場	東京駅地下1階 びゅうスクエア
参加者	連携会議自治体及び観光協会、観光大使、ゆるキャラ、 武将隊（上越市）、物販出店者等
内容	催事場での連携市町村の観光及び物産のPR ・地域PRブースの設置 ・物産販売 ・ゆるキャラステージ、武将隊演武 ・JRによる開業PRと各地域のびゅう商品の紹介
費用	250万円（什器、サイン、JR関連会社の支援スタッフ等含む）

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画調整 →		実施（いずれかの月の週末2日間）									

5 事業費（概算）

3,200,000 円

<内訳>

- ・ 出展料 2,500,000円
- ・ 旅費等 700,000円

誘客宣伝

広域周遊型旅行商品の展開

1 趣旨

北陸新幹線開業による効果を活かした広域旅行商品の開発を行い、大手の旅行エージェントへ紹介し、当地域の魅力の発信と商品化につなげる。

2 事業計画（案）

周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動

- (1) 観光素材の収集、周遊型広域旅行商品の開発
- (2) エージェント現地見学会およびモニターツアーの実施
- (3) エージェントによる評価と商品の磨き上げ
- (4) 本番用モニターツアーの企画、売り込み、実施

3 目標

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	観光素材の収集、周遊型広域旅行商品の開発											
						AGT見学会、モニター						
							商品の磨き上げ					
										販売		

5 事業費（概算）

160,000 円

イベント

市民見学会の開催

1 趣旨

連携会議市町村内に居住する市民を対象に、新幹線駅舎の見学と広域観光圏の周遊ツアーを実施し、機運の醸成と新幹線の利用促進を図る。

2 事業計画（案）

開業日発表の前後に合わせ新幹線駅舎の見学を兼ねたツアーを実施する。

< 概要 >

日時	平成26年10～11月の間 月2回の催行（土日限定）
対象者	大町、白馬、小谷エリアに居住する方には「日本海コース」 朝日、糸魚川、上越エリアに居住する方には「北アルプスコース」
募集人数	1回の運行につき27名
内容	新幹線駅舎の内覧会、新幹線開業による効果の説明、連携会議の取組みの説明、周辺地域の観光ほか
その他	昼食代は実費とする

3 目標

市民意識の高揚や期待感の創出による機運の醸成
新幹線の利用促進

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			プラン策定									
			→		募集		→	→	→			
					募集		→	→	→			

5 事業費（概算）

540,000 円

< 内訳 >

- ・バス借上代 130,000円/日×4本=520,000円
- ・ガイド料 5,000円/日×4回=20,000円

イベント

広域観光PRの実施

1 趣旨

各市町村及び観光団体が出展する首都圏、関西圏等でのイベントやキャンペーンにおいて、「北アルプス日本海広域観光連携会議」のPRを実施し、認知度向上に努める。

2 事業計画（案）

連携会議の各団体が首都圏や関西圏で実施する集客力のあるイベントやキャンペーンにおいて、糸魚川駅開業情報と「北アルプス日本海広域観光連携会議」の魅力を発信し、露出機会を増やすことで認知度向上を図る。

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出
- (2) 連携会議エリアの観光情報の紹介

【例】糸魚川市の場合		
・首都圏誘客キャンペーン	6月	J R大宮駅（さいたま市）
・新潟県観光物産展	6月	J R大阪駅（大阪市）
・NEXCO東日本観光キャンペーン	7月	関越自動車道上里S A（埼玉県上里町）
・モンベルクラブフレンドフェア	10月	幕張メッセ（千葉市）
・モンベルクラブフレンドフェア	11月	インテックス大阪（大阪市）
・新潟県観光物産展	11月	J R大阪駅（大阪市）
・旅フェア	11月	サンシャインシティ（東京都豊島区）
・NEXCO東日本観光キャンペーン	11月	関越自動車道上里S A（埼玉県上里町）
・糸魚川観光物産フェア	11月	表参道・新潟館ネスパス（東京都渋谷区）
・冬季観光キャンペーン	12月	J R金沢駅（金沢市）
・うまさぎっしり新潟冬フェスタ	12月	表参道・新潟館ネスパス（東京都渋谷区）

3 目標

首都圏、関西圏の不特定多数への情報発信

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												
	→											

※25年度中に各団体の事業の把握を行う

5 事業費（概算）

0 円

HP運営

ホームページ運営管理

1 趣旨

訴求力のあるコンテンツを発信する魅力あるサイトを運営することで、北陸新幹線開業及び連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を活かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより連帯感の醸成と露出度の向上を図る。
- (4) カウントダウンカレンダーを掲載し、アクセス数を上げる。

3 目標

認知度向上
 連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

300,000 円

イベント

糸魚川駅開業記念事業実行委員会との連携

1 趣旨

北陸新幹線開業記念実行委員会（事務局：糸魚川市産業部都市整備課）と連携してイベントを開催することで相乗効果を高めるとともに、誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

■ 1年前カウントダウンイベント（平成26年3月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) 開業記念プロジェクトの発表
- (2) プラレール企画の発表
- (3) ゆるフォト・コンテストの告知

■ 6か月前カウントダウンイベント（平成26年9月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) プロジェクション・マッピング
- (2) カウントダウンボード掲出
- (3) アンバサダー活動開始（SNS連動）

■ 3か月前カウントダウンイベント（平成26年12月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) キャンドルナイト&ライブ

■ 1か月前カウントダウンイベント（平成27年2月実施予定）

企画内容（予定）

- (1) ゆるキャラフォトコンテスト
- (2) プラレール文字制作
- (3) PRキャンペーン強化

■ 開業日当日（平成27年3月）

企画内容（予定）

- (1) 地元タレントによる開業式典
- (2) プラレール企画完成披露

3 目標

認知度向上と機運の醸成
協働による経費節減

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						6か月前CD						
						→			3か月前CD			
									→			
											1か月前CD	
											→	
												開業
												→

5 事業費（概算）

0 円

イベント

地域内イベントPR事業

1 趣旨

連携会議の地域内で開催される各種イベント等で新幹線開業PRを行うことで、北陸新幹線「糸魚川駅」及び「北アルプス日本海広域観光連携会議」の認知度を高めるとともに、地域内の機運醸成を図る。

2 事業計画（案）

多数の集客が見込める地域を代表するイベントにおいて、PRコーナーを設け来場者に紹介する。

- (1) ポスター、パンフレット、のぼり旗等の掲出
- (2) 連携会議の取組み及びエリアの観光情報の紹介

PRコーナーの装飾、レイアウト等は事業者提案によるものとするが、以下に掲げるものを掲出する。なお、イベント終了後には、事務局に実績報告を行うものとする。

- ・パンフレット（100～200部程度）
- ・ポスター（1枚以上）
- ・のぼり旗（1基以上）

【例】糸魚川市の場合（地域外からの来訪が多いもの）

イベント名称	開催月	開催日数	入込数（人）
翠風展	5月	2日	4,800
ひめかわポートフェスティバル	8月	1日	24,000
日本海クラシックカーレビュー	9月	1日	20,000
糸魚川翡翠鉱物展	11月	2日	3,500

3 目標

地域内における認知度向上と連帯感の醸成

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施（随時）												

5 事業費（概算）

0 円

二次交通

交通アクセス検討事業

1 趣旨

北陸新幹線糸魚川駅を拠点として各市町村までの交通アクセスを検討し、個人型周遊観光ルートの確保に向けた制度設計を行う。

2 事業計画（案）

- ・交通事業者を中心に（仮称）二次交通検討部会を立ち上げ、糸魚川駅を中心とする交通アクセスの検討を行う。
- ・個人型周遊観光ルートの確保に向けた制度設計を行う。

- ・構成自治体へ送客（誘客）する仕組みづくりの検討
- ・シャトルバス、定期観光バス、観光タクシー、企画切符等の検討・提案
- ・新幹線利用者を対象とした割引特典等の検討・提案
- ・大糸線、北陸本線との運行調整
- ・特急利用者への利用促進PR
- ・JRへのリゾート列車、びゅうバス等の運行要請

3 目標

交通アクセスの検討と環境整備
周遊ルートの制度設計

4 スケジュール

2014年（平成26年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討												

5 事業費（概算）

0 円